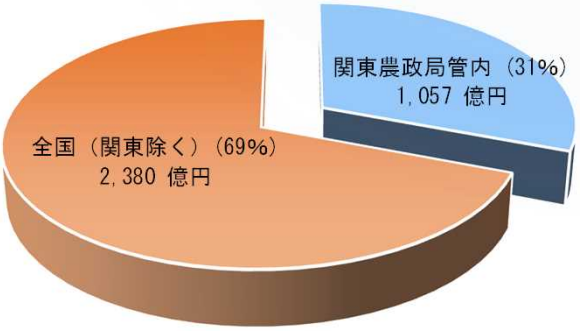
統計をみよう

関東農政局統計部
平成28年８月31日

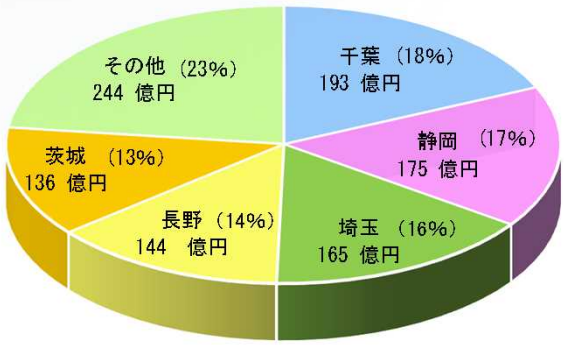
関　東　の　花　き

1　花きの産出額

平成26年花きの産出額（全国）



平成26年花きの産出額（関東農政局管内）



資料：『平成26年生産農業所得統計』

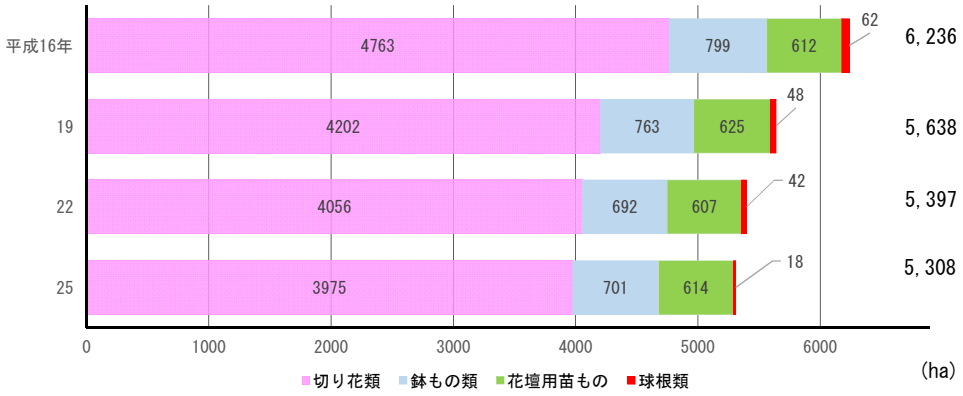
注：　統計数値については、表示単位未満の数値を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下同じ。）。

◇　関東農政局管内の花きの産出額（平成26年）は1,057億円で、全国の３割を占めています。
　管内の産出額とその割合を都県別にみると、千葉県が18%で最も高く、次いで静岡県、埼玉県の順となっています。
　これら３県に、長野県及び茨城県を加えた５県で管内の花きの産出額全体の約８割を占めています。

ばら（撮影：埼玉県下）

2　花きの作付（収穫）面積の推移

花きの作付（収穫）面積の推移（関東農政局管内）



資料：『花き生産出荷統計』

※　花き調査は主に主産県を対象に調査しており、全国の都道府県を対象に調査するのは３年に１度であり、直近の関東農政局管内計の作付（収穫）面積は平成25年となります。

◇　直近の全国調査年である平成25年の管内の花きの作付（収穫）面積は5,308haで、平成16年に比べて928ha（15%）減少しています。

◇　類別では、花壇用苗もの類が横ばいで推移しているものの、切り花類、鉢もの類、球根類は減少傾向にあります。

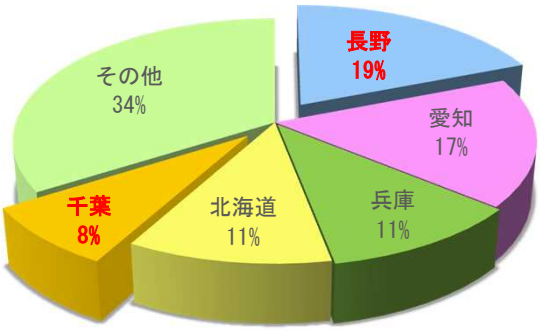
３　品目別花き生産動向（管内の都県が全国１位となっている品目）

（１）　カーネーション

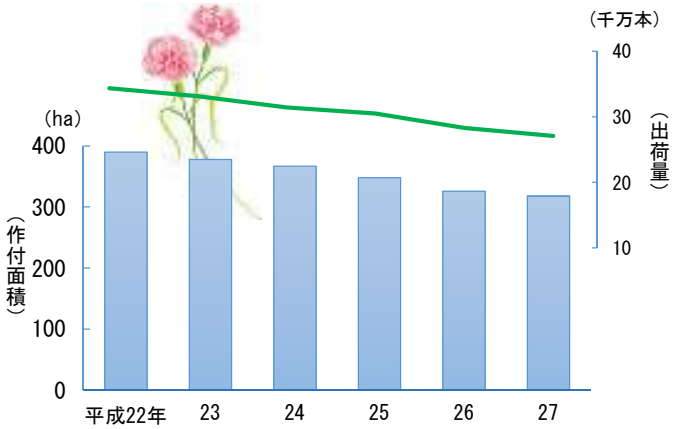
◇　平成27年産の全国の作付面積は318haで前年産に比べ２％減少、出荷量は２億7,090万本で前年産に比べ４％減少しています。

◇　都道府県別の出荷量割合をみると、長野県が19％で全国で最も高く、千葉県が８％で５位となっています。

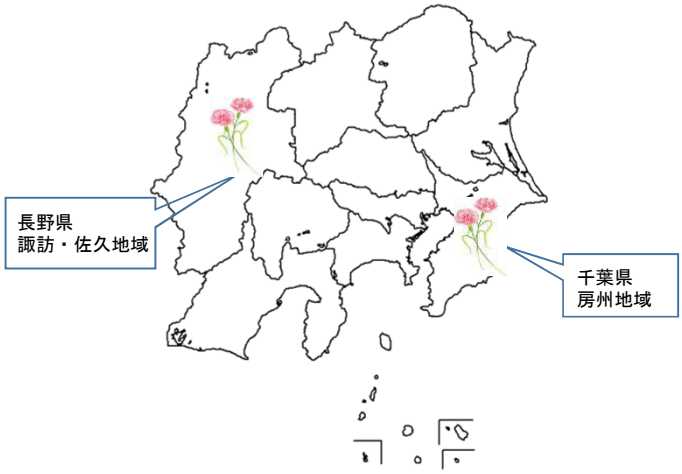
カーネーションの都道府県別出荷量割合（平成27年）



カーネーションの作付面積と出荷量の推移（全国）



関東農政局管内の主産地

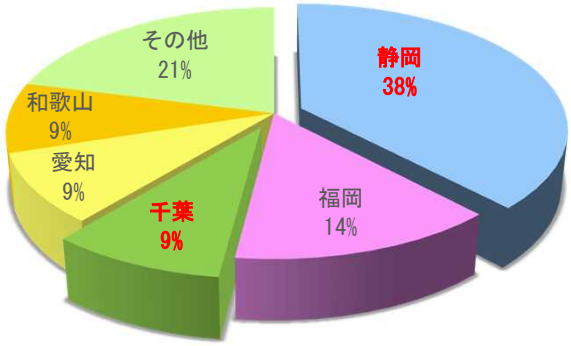


（２）　ガーベラ

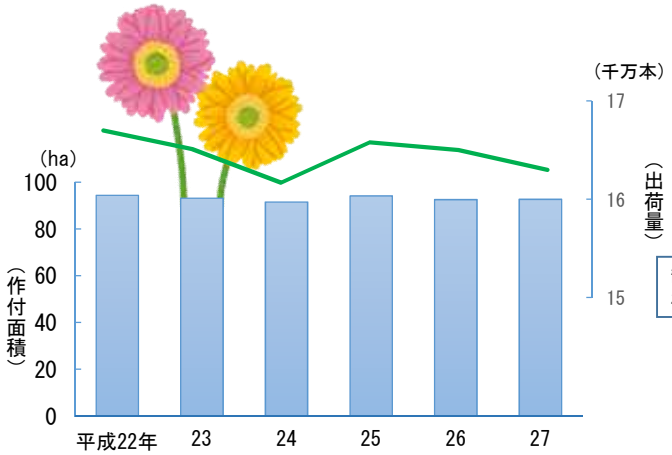
◇　平成27年産の全国の作付面積は93haで前年産並み、出荷量は１億6,300万本で前年産に比べ１％減少しています。

◇　都道府県別の出荷量割合をみると、静岡県が38％で全国で最も高く、千葉県が９％で３位となっています。

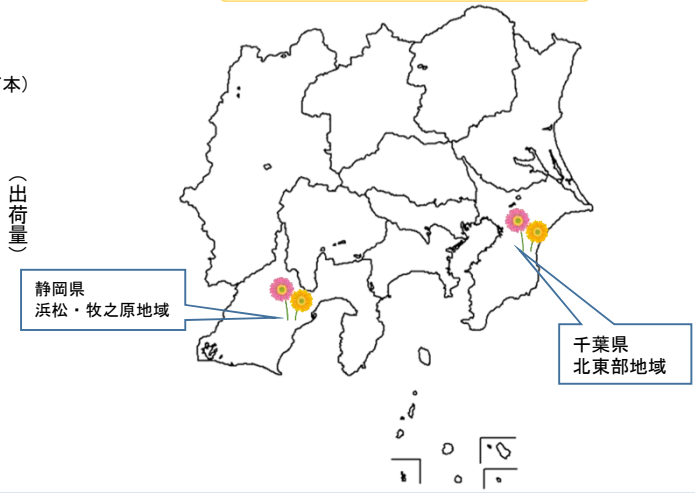
ガーベラの都道府県別出荷量割合（平成27年）



ガーベラの作付面積と出荷量の推移（全国）



関東農政局管内の主産地

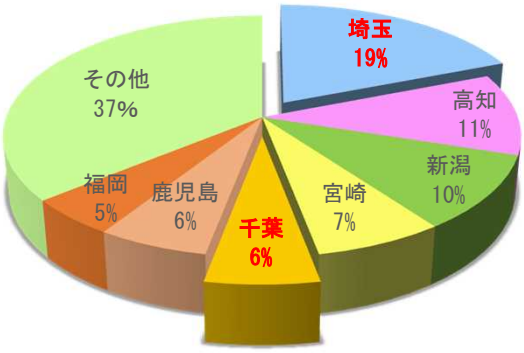


（３） ゆ　り

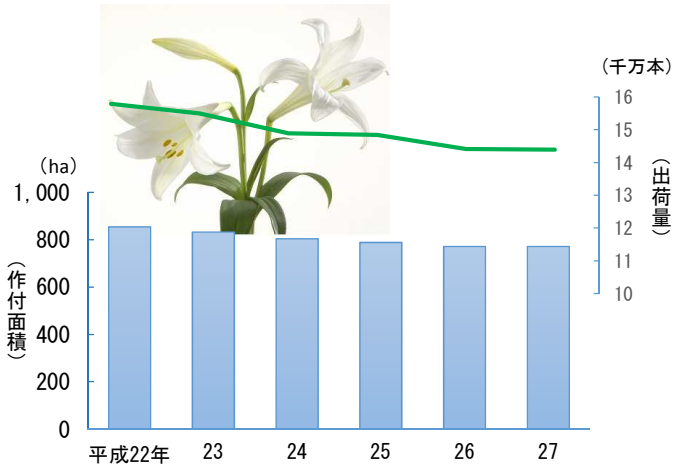
◇　平成27年産の全国の作付面積は772ha、出荷量は１億4,390万本で、ともに前年産並みとなっています。

◇　都道府県別出荷量割合は、埼玉県が19%で全国で最も高く、千葉県が６%で５位となっています。

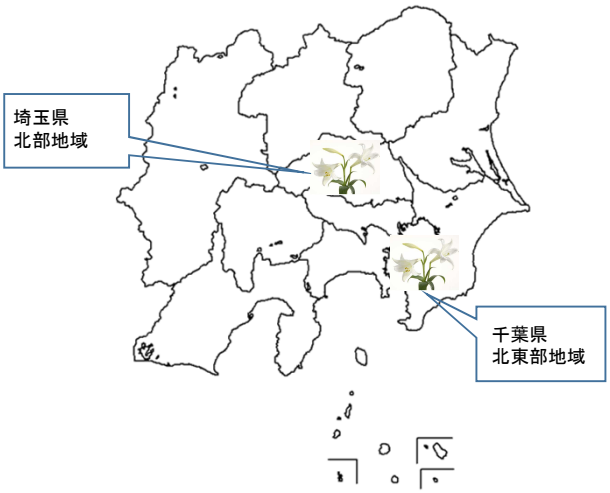
ゆりの都道府県別出荷量割合（平成27年）



ゆりの作付面積と出荷量の推移（全国）



関東農政局管内の主産地

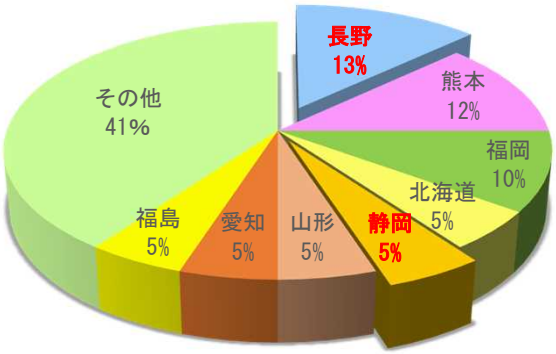


（４） トルコギキョウ

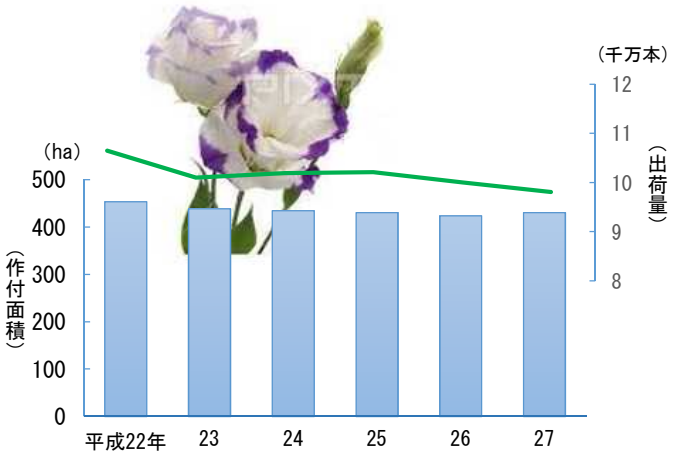
◇　平成27年産の全国の作付面積は431haで前年産に比べ２%増加、出荷量は9,810万本で前年産に比べ２%減少しています。

◇　都道府県別の出荷量割合をみると、長野県が13%で全国で最も高く、静岡県が５%で５位となっています。

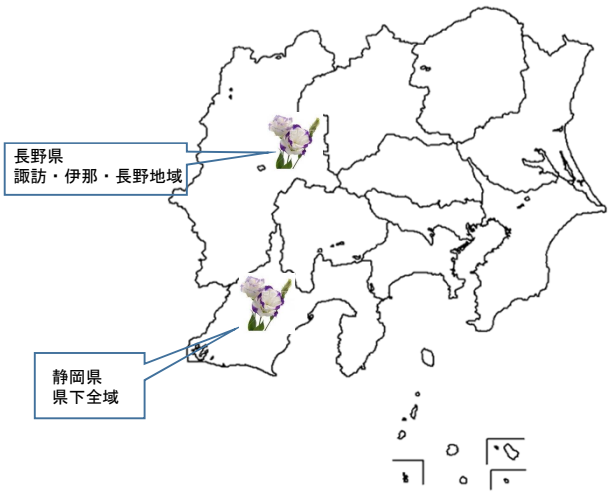
トルコギキョウの都道府県別出荷量割合（平成27年）



トルコギキョウの作付面積と出荷量の推移（全国）



関東農政局管内の主産地

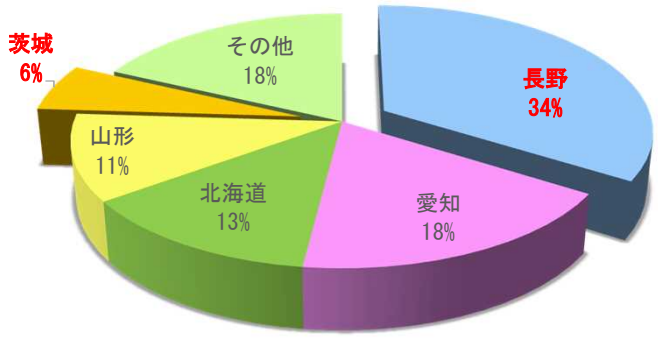


（５） アルストロメリア

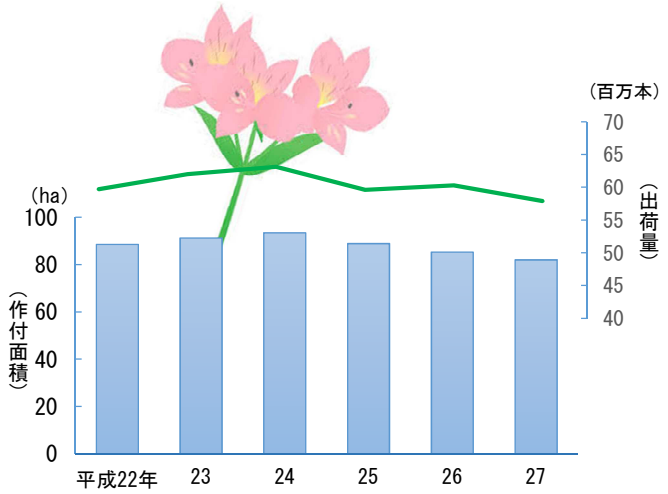
◇　平成27年産の全国の作付面積は82ha、出荷量は5,790万本で、ともに前年産に比べ４％減少しています。

◇　都道府県別の出荷量割合をみると、長野県が34%で全国で最も高く、茨城県が６％で５位となっています。

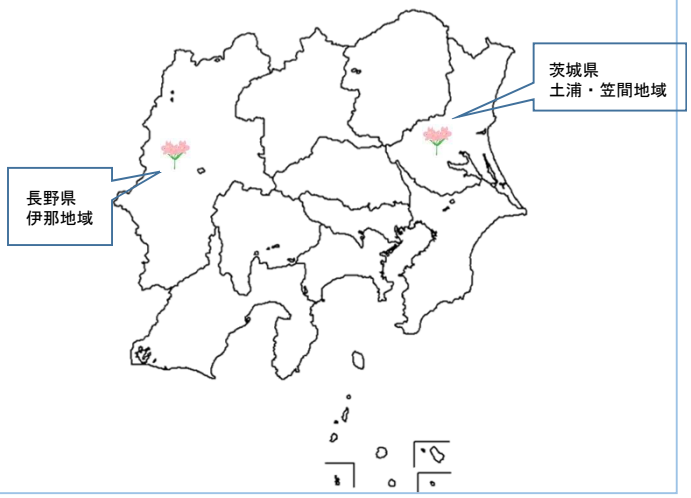
アルストロメリアの都道府県別出荷量割合（平成27年）



アルストロメリアの作付面積と出荷量の推移（全国）



関東農政局管内の主産地



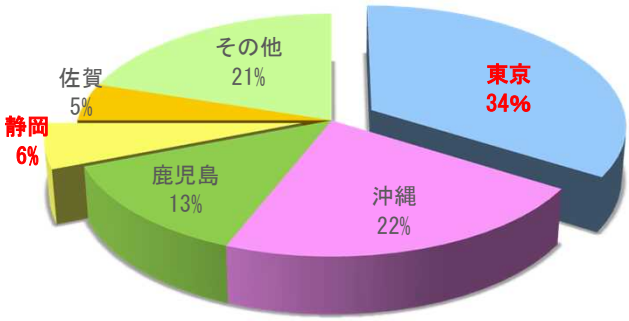
（６） 切り葉

◇　平成27年産の全国の作付面積は687ha、出荷量は１億3,260万本で、ともに前年産に比べ４％減少しています。

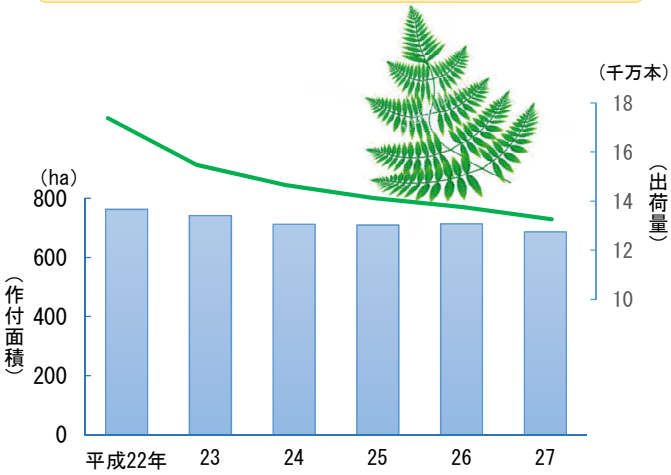
◇　都道府県別出荷量割合は、東京都が34%で全国で最も高く、静岡県が６％で４位となっています。

※　東京都の切り葉は主にシダ類（ロベ等）です。

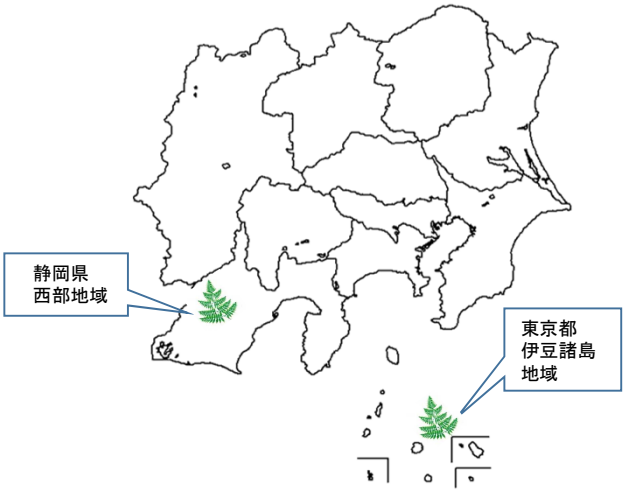
切り葉の都道府県別出荷量割合（平成27年）



切り葉の作付面積と出荷量の推移（全国）



関東農政局管内の主産地



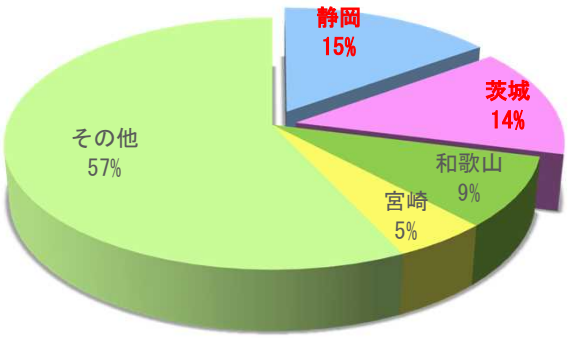
（７） 切り枝

◇　平成27年産の全国の作付面積は3,659haで前年産並み、出荷量は２億1,170万本で前年産に比べ１％増加しています。

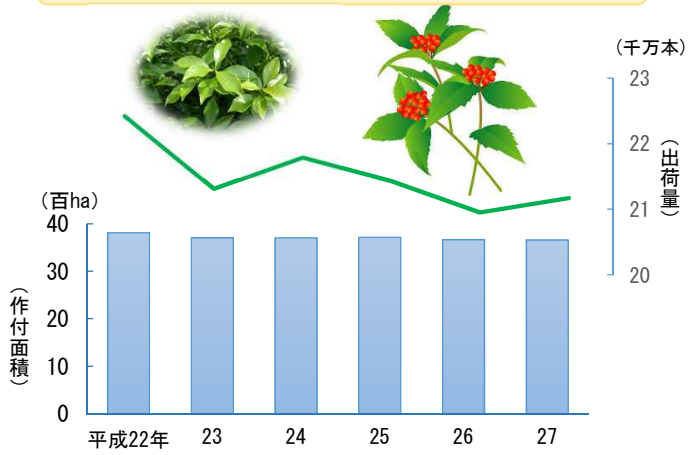
◇　都道府県別の出荷量割合をみると、静岡県が15%で全国で最も高く、次いで茨城県が14%で２位となっています。

※　茨城県の切り枝は千両、ヤナギ等です。
※　静岡県の切り枝はシキミ、サカキ等です。

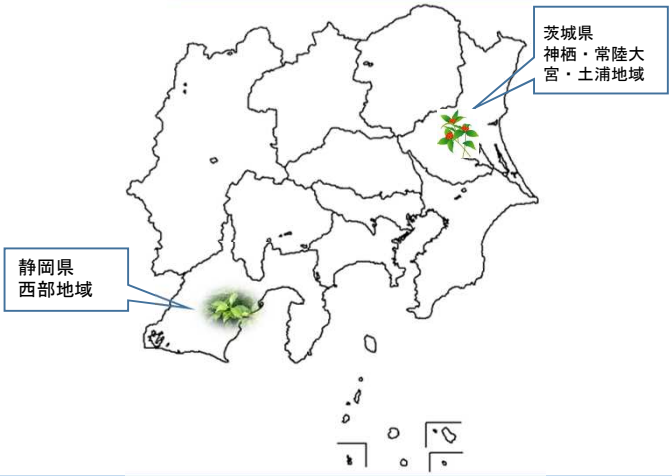
切り枝の都道府県別出荷量割合（平成27年）



切り枝の作付面積と出荷量の推移（全国）



関東農政局管内の主産地

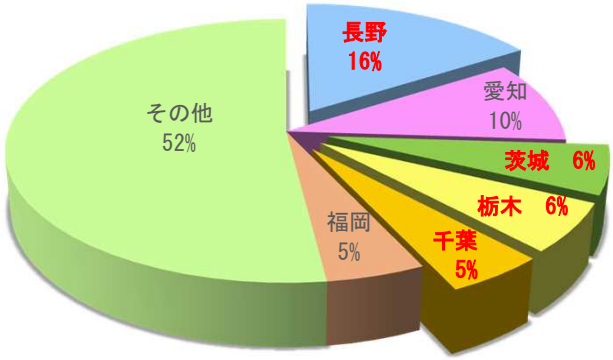


（８） シクラメン

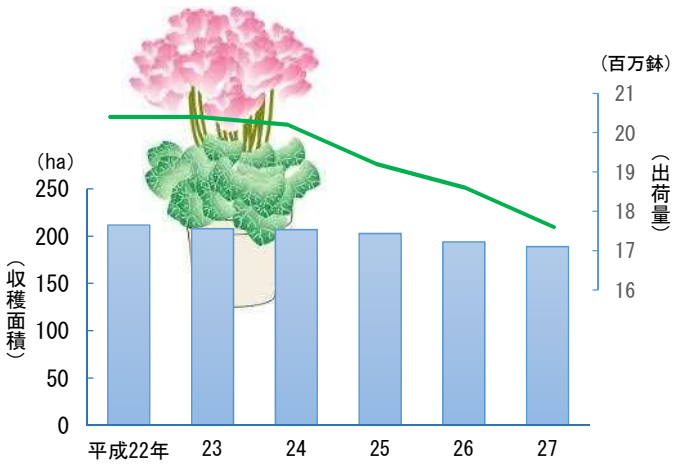
◇　平成27年産の全国の収穫面積は189haで前年産に比べ３％減少、出荷量は1,760万鉢で前年産に比べ５％減少しています。

◇　都道府県別出荷量割合は、長野県が16%で全国で最も高く、茨城県が６％で３位、栃木県が６％で４位、千葉県が５％で５位となっています。

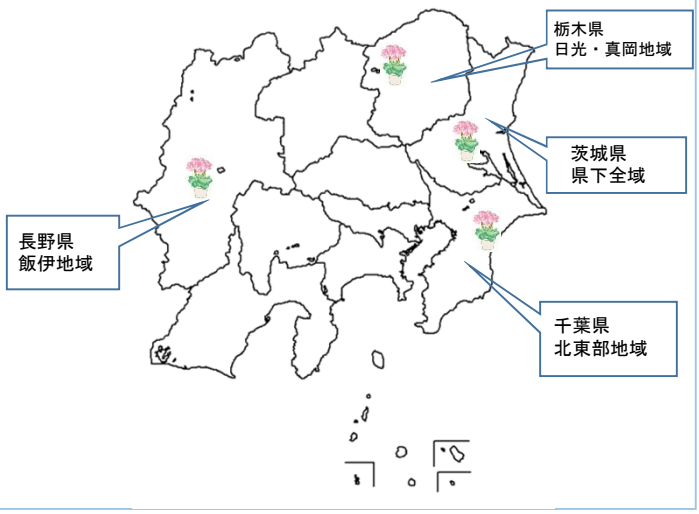
シクラメンの都道府県別出荷量割合（平成27年）



シクラメンの収穫面積と出荷量の推移（全国）



関東農政局管内の主産地

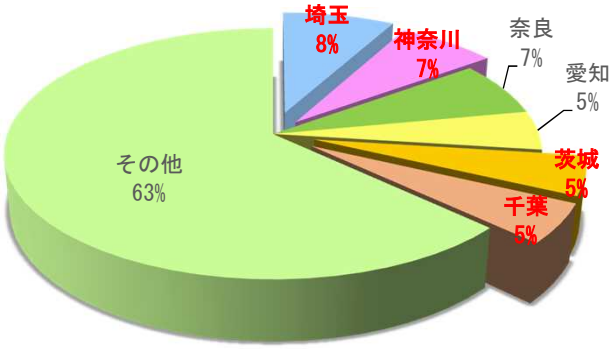


（９）　パンジー

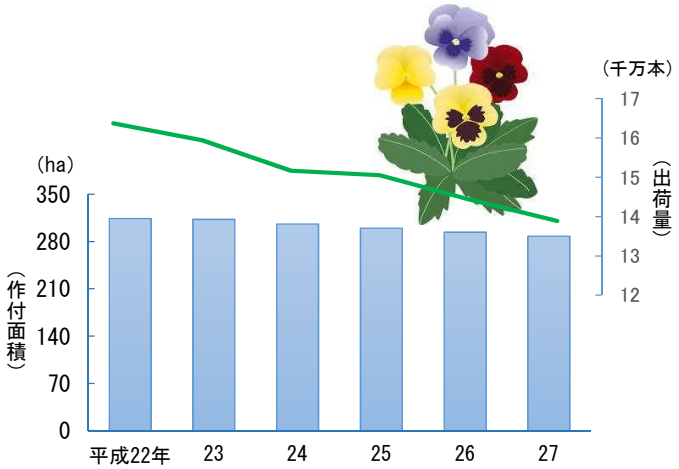
◇　平成27年産の全国の作付面積は288haで前年産に比べ２％減少、出荷量は１億3,890万本で前年産に比べ４％減少しています。

◇　都道府県別の出荷量割合をみると、埼玉県が８％で全国で最も高く、神奈川県が７％で２位茨城県が５％で５位、千葉県が５％で６位となっています。

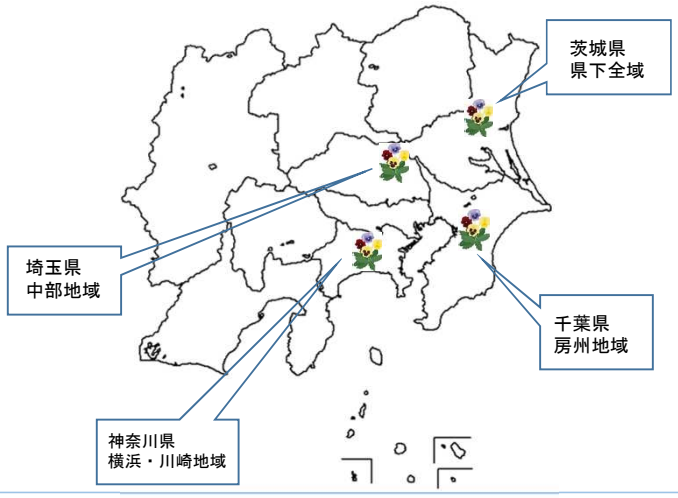
パンジーの都道府県別出荷量割合（平成27年）



パンジーの作付面積と出荷量の推移（全国）



関東農政局管内の主産地



４　花きの品目別出荷量都道府県別順位

表　平成27年品目別出荷量（上位10都道府県）

品目 / 都道府県順位	カーネーション		ガーベラ		ゆり		トルコギキョウ		アルストロメリア	
	全　国	270,900千本	全　国	163,000千本	全　国	143,900千本	全　国	98,100千本	全　国	57,900千本
1	長野県	51,900	静岡県	62,500	埼玉県	27,300	長野県	12,300	長野県	19,800
2	愛知県	47,000	福岡県	22,700	高知県	16,300	熊本県	11,300	愛知県	10,500
3	北海道	29,100	千葉県	14,400	新潟県	14,300	福岡県	10,000	北海道	7,490
4	兵庫県	29,100	愛知県	14,400	宮崎県	9,960	北海道	5,330	山形県	6,510
5	千葉県	22,700	和歌山県	14,300	千葉県	8,000	静岡県	4,960	茨城県	3,200
6	長崎県	15,800	茨城県	6,360	鹿児島県	7,990	愛知県	4,860		
7	福岡県	11,300			福岡県	7,120	山形県	4,730		
8	静岡県	10,200			北海道	6,170	福島県	4,570		
9	熊本県	7,220			福島県	5,010	千葉県	3,990		
10					熊本県	4,890	高知県	3,860		
					上記以外の管内主産県：栃木県、長野県		上記以外の管内主産県：栃木県			

順位	切り葉		切り枝		シクラメン		パンジー	
	全　国	132,600千本	全　国	211,700千本	全　国	17,600千鉢	全　国	138,900千本
1	東京都	45,600	静岡県	32,300	長野県	2,730	埼玉県	11,100
2	沖縄県	29,300	茨城県	29,100	愛知県	1,680	神奈川県	10,100
3	鹿児島県	16,600	和歌山県	18,000	茨城県	1,120	奈良県	9,100
4	静岡県	7,500	宮崎県	11,400	栃木県	1,090	愛知県	7,330
5	佐賀県	6,320	奈良県	8,550	千葉県	957	茨城県	7,040
6	千葉県	5,410	千葉県	8,520	福岡県	876	千葉県	7,020
7			高知県	7,700	福島県	773	三重県	5,830
8			愛媛県	7,670	埼玉県	750	福岡県	5,040
9			福島県	7,100	山形県	690	静岡県	5,000
10			長野県	6,830	群馬県	651	広島県	4,830
			上記以外の管内主産県：群馬県、東京都		上記以外の管内主産県：神奈川県、山梨県		上記以外の管内主産県：栃木県、群馬県、東京都	

5　トピック（需要拡大の取り組み）

■　フラワーバレンタイン

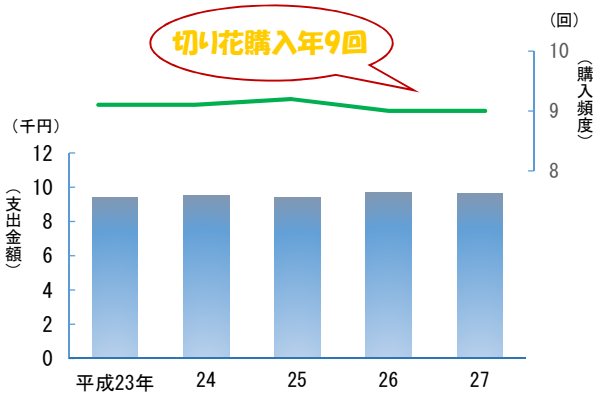
毎年2月14日のバレンタインデーは、国内では「女性から男性へチョコレートで愛を伝える日」として定着してますが、欧米やアジア諸国では男性から女性に花を贈ることが一般的になっています。

この習慣を日本にも普及させようとの取り組みが花業界一丸となり進められており近年少しずつ浸透してきています。

（関東農政局HPより）

コチョウラン（撮影：埼玉県下）

切り花の1世帯当たり年間の支出金額及び購入頻度の推移



資料：総務省『家計調査』

■　いい夫婦の日

フラワーバレンタインに続き、11月22日の「いい夫婦の日」を、花の新しい物日にしようとの取り組みも活発化しています。

「いい夫婦の日」 が「大切な人へ花を贈る日」となるよう、各地で、フラワーアレンジメントの体験教室、花鉢の無料配付などを行うPR等が行われています。

（関東農政局HPより）

ガーベラ（撮影：静岡県下）

利用にあたって

1　本資料は、「平成27年産花きの作付（収穫）面積及び出荷量（平成28年5月31日公表）」をもとに、作成したものです。

2　調査対象は、都道府県において、花きを出荷した集出荷団体、集出荷業者、個人出荷農家等を対象とし、集出荷団体に対する往復郵送調査又はオンライン調査、集出荷業者及び個人出荷農家等に対する往復郵送調査により行ないました。

なお、作付面積の増減動向及び被害の発生状況等の把握は、必要に応じて職員等による情報収集により補完しています。

3　調査時期は、当該年産の収穫・出荷の終了した毎年2月末日を調査期日としました。

4　用語の解説

（1）作付面積

販売を意図して、花き栽培のために利用することを目的に作付けした面積をいう。したがって、自家用として庭園等に栽培していたもの、公園などで鑑賞用に植え付けられていたものの面積は除く。

（2）収穫面積

球根類及び鉢もの類の作付面積（鉢もの類にあっては、鉢が占有しているベッド、棚等の延べ面積をいう。）のうち、収穫・出荷した花きの利用面積をいい、育成中の球根類等の利用面積を除く。

（3）出荷量

収穫された花きのうち販売に供されたものの量をいう。

5　なお、「1　花きの産出額」については、「平成26年生産農業所得統計」、「2　花き作付（収穫）面積」については、「花き生産出荷統計」をもとに、作成しました。

6　この資料に対するお問い合わせは、関東農政局統計部生産流通消費統計課【電話048-740-0589（直通）】までお願いします。

この統計調査結果の詳細は、関東農政局ホームページ中の「統計情報」で御覧いただけます。
関東農政局ホームページ　統計情報【 http://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/ 】